

(仮訳)

日本国とトルコ共和国の原子力エネルギー及び科学技術分野における協力 に関する共同宣言

日本国とトルコ共和国の友好関係は、エルトゥールル号の日本への航行とともに1890年から始まり、以来歴史的な友好関係が120年以上にわたって両国間で築かれてきた。

両国の強固な友好関係は、全面的なエネルギー・プロジェクトを以て具体的な協力となった。2013年5月3日の「平和的目的のための原子力の利用における協力のための日本国政府とトルコ共和国政府との間の協定」及び「トルコ共和国における原子力発電所及び原子力産業の開発のための協力に関する日本国政府とトルコ共和国政府との間の協定」への署名により、二国間関係の新しい時代が始まった。

安倍晋三日本国内閣総理大臣とレジェップ・タイップ・エルドアン・トルコ共和国首相が同日に署名した「日本国とトルコ共和国の戦略的パートナーシップの構築に関する共同宣言」では、両首相は原子力分野での専門家育成を含む両国の教育協力の強化を目的としたトルコにおける科学技術に関する国際大学を設立することで一致し、この目的のために、日トルコ双方の代表から構成される委員会が立ち上げられた。今後、両国により共同でトルコに設立される大学の準備作業が迅速に続けられ、最も早い現実的な日に同大学は開校される。

2013年5月の安倍総理のトルコ訪問直後、シノップ原子力発電所プロジェクトの実現に向けて、「施設国政府契約」に関する交渉が開始され、2013年10月29日、両者の集中的な努力によって技術的な交渉が妥結された。同時に、最大限の安全性を追求する技術的な実行可能性調査が原子力発電所の建設現場で開始された。

安倍晋三
日本国内閣総理大臣

レジェップ・タイップ・エルドアン
トルコ共和国首相